

平成 21 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 日本化学工業株式会社
 代表者名 代表取締役 佐藤 源一
 (コード番号 4092 東証1部)
 問合せ先 経理部長 相澤 朋夫
 (TEL 03-3636-8038)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 12 日に公表致しました平成 22 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正致します。

記

1. 平成 22 年 3 月第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 5 月 12 日発表)	19,000	△600	△800	△900	△10.23
今 回 発 表 予 想 (B)	20,300	△400	△640	△740	△8.41
増 減 額 (B-A)	1,300	200	160	160	—
増 減 率 (%)	6.8	—	—	—	—
(参考)前期実績 (平成 21 年 3 月第 2 四半期累計期間)	28,358	1,671	1,529	920	10.46

(参考)平成 22 年 3 月第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 5 月 12 日発表)	17,500	△700	△900	△900	△10.23
今 回 発 表 予 想 (B)	18,500	△430	△650	△740	△8.41
増 減 額 (B-A)	1,000	270	250	160	—
増 減 率 (%)	5.7	—	—	—	—

2. 平成 22 年 3 月通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 5 月 12 日発表)	43,000	600	200	100	1.14
今 回 発 表 予 想 (B)	42,300	△370	△820	△1,080	△12.27
増 減 額 (B-A)	△700	△970	△1,020	△1,180	—
増 減 率 (%)	△1.6	—	—	—	—
(参考)前期実績(平成 21 年 3 月通期)	49,895	1,368	924	1,032	11.73

(参考)平成 22 年 3 月通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 5 月 12 日発表)	39,600	500	100	100	1.14
今 回 発 表 予 想 (B)	38,600	△430	△880	△1,110	△12.62
増 減 額 (B-A)	△1,000	△930	△980	△1,210	—
増 減 率 (%)	△2.5	—	—	—	—

3. 修正の理由

景気の先行きに不透明感が残るものの、世界的な景気後退は底を打ち、生産や輸出に持ち直しの動きがみられる中で、当社グループにおいても電材事業を中心に販売数量が回復してきております。

しかしながら、第2四半期以降において、化学品事業部門で使用する主要原材料価格が当初見込みを上回って下落し、関連製品の販売価格も大幅に下落したため、売上高、利益ともに減少しました。さらに関連棚卸資産在庫の影響等により利益が圧迫されることから、業績予想を修正するものであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上